

ユニバーサル社会づくりの推進

～めざすべき社会像～

ユニバーサル社会づくりの推進に関する条例

年齢、性別、障害の有無、言語、文化等の違いに関わりなく、全ての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができる社会

推進体制
 1 ユニバーサル社会づくりひょうご推進会議【467 会員(278 団体・企業、個人 189 名)】
 2 ユニバーサル社会づくり推進本部会議【本部長：知事】

「総合指針(H30.10 改定)」により取組を推進
 247 事業 20,427,873 千円

推進の基本理念・令和2年度の主な取組

<p>＜ひと＞ 人と人が相互に人格と個性を尊重しつつ、支え合う社会</p>	<p>＜参加＞ 全ての人がその能力を発揮して、多様な社会参加ができる社会</p>	<p>＜情報＞ 生活に必要な情報を円滑に取得し、及び利用する多様な手段が確保され、自らが望む意思疎通の手段を選択することができる社会</p>	<p>＜まち＞ 福祉のまちづくりの推進により、安全で安心な暮らしが確保される社会</p>	<p>＜もの＞ 全ての人のにとって利用しやすく、質の高い製品及びサービスが普及する社会</p>
<p>58 事業 1,258,048 千円</p> <p>1 基本理念に対する理解を深める機会の提供 ④ひょうごユニバーサル社会づくりの充実強化 動画コンテスト受賞作品の発信やメルマガ配信などユニバーサル社会の推進に向けた普及活動等を実施 ○ユニバーサル社会づくり顕彰事業の実施 ※R1：2 個人、9 団体、1 企業を表彰 ④ラジオ「濱田祐太郎のユニバーサル通信」 ひょうごユニバーサル大使 濱田祐太郎氏による、県ユニバーサル施策・イベント・授産商品 PR (ラジオ関西 月1回) ○配慮が必要な方に関するヘルプマークの普及啓発 ※[配付数] ～R1：35,129 個</p> <p>2 家庭、地縁団体等と連携した障害児への生きる力を育むための教育の実施 ○「トライアングル」プロジェクト実践研究事業 家庭、教育、福祉における一貫した支援を組織的かつ計画的に進めるためのマニュアルを作成し、連携モデルを県内に普及啓発 ④高等学校での通級による指導実践研究事業 通級指導の実践研究を行い自立活動の指導内容や特別の教育課程の編成を研究</p> <p>3 ユニバーサル社会づくりに資する人材の養成 ○ユニバーサルカフェ開設応援事業 障害者、高齢者、子育て世代等、誰もが気軽に立ち寄れる居場所づくりを支援し、県民の主體的な取組を促進 ※[助成件数]R1：13 件 ④「みんなの声かけ運動」の充実強化 幼稚園・小中学校への出前講座開催など運動の展開 ※[推進員数]～R1：4,896 名 [応援協定締結]～R1：204 団体 ④チームオレンジ構築の推進 認知症の人とその家族のニーズに、認知症サポーター等の地域人材を繋げるしくみを構築 ※[認知症サポーター養成数]～R1：499,223 名 ④障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト等の推進 ひょうご障害者芸術文化活動支援センターにおいて、常設・定期展示や観劇機会の拡大支援、アートサポーター養成等を実施</p>	<p>113 事業 6,338,431 千円</p> <p>1 高齢者、女性、障害者が多様な勤務形態を選択できる環境の整備 ④障害者の就労・工賃向上支援に向けた取組の推進 農福連携の促進やインターネットの活用による授産商品の販売促進 ④農業参入推進モデル事業 補授産商品「+NUKUMORI」の配送料無料化による販売強化 補就労系障害福祉サービスの生産活動強化の支援 補就労継続支援 B 型事業所利用者への支援 補障害者就業・生活支援センター事業の機能強化</p> <p>④多様な働き方の推進 多様な働き方の事例や導入効果を紹介する企業向けセミナーの開催、先進的な取組を YouTube 等の動画で発信</p> <p>④ひょうごジョブコーチによる伴走型支援 障害者の就労・職場定着促進のため、個々の特性を踏まえた専門的な伴走型支援を実施</p> <p>④感染防止や生産性向上に向けた支援 障害福祉事業所のテレワークや ICT モデル事業、介護ロボット等の導入支援</p> <p>2 地域社会全体で高齢者、女性等の社会参加を促進する体制の整備 ○保育所・認定こども園の整備の推進、企業主導型保育事業の支援 ※[保育所、保育所型認定こども園、幼保連携型認定こども園の定員数] R2:115,266 人</p> <p>3 障害者等が生活を営む上での障壁を除去するための支援体制の整備 ○盲ろう者への理解促進・盲ろう者の社会参加の促進 学校等での出前講座の開催や、盲ろう者と地域住民との交流イベントを実施 ④ひきこもり対策への総合的支援 家族支援プログラム (CRAFT) の担い手養成や電子居場所の設置等支援体制の充実</p> <p>4 文化芸術活動、スポーツ等を通じた様々な人との交流 ④「障害者スポーツ推進プロジェクト」の実施 2020 パラリンピック(2021 年 8 月に延期)、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西等に向け、選手育成強化や環境整備等を実施 ○「ひょうご障害者総合トレーニングセンター」(仮称)の整備(R5 年度供用開始)</p>	<p>31 事業 1,449,096 千円</p> <p>1 手話、点字等の多様な手法により全ての人が情報を円滑に取得できる措置 ○県広報、県議会広報のユニバーサル化 県広報番組での字幕スーパー・手話画面挿入、県議会本会議での手話画面挿入、点字広報誌等の発行 ④知事記者会見での手話通訳士設置 ○ひょうご多文化共生総合相談センターの運営 外国人等からの相談に対し、相談員や翻訳アプリ等により 11 言語で対応</p> <p>2 手話通訳等を行う人材の養成及び手話等を学習する機会の確保 ④手話通訳士・要約筆記者養成研修の機会増 ④障害特性を理解した ICT 指導技術者の養成 (視覚・聴覚・盲ろう) ④点字図書館におけるオーディオブック充実強化 学生ボランティアを活用し、点字未修得者も利用できるオーディオブックを充実</p> <p>3 災害時に必要な情報を迅速かつ的確に伝達する体制の整備 ④スマホアプリ版「ひょうご防災ネット」の配信 音声読み上げ機能や 12 外国語対応での、県や市町からの緊急情報・防災情報の配信に加え、避難判断情報のプッシュ通知を実施 ④避難行動要支援者への対策 居宅介護支援事業所等と自主防災組織が連携して個別支援計画の作成を促進</p> <p>4 情報通信技術の活用やその進展による利便性を全ての人が享受できる環境整備 ○聴覚障害者への情報配慮 県や企業主催イベントでの手話通訳者・要約筆記者の設置を推進 ④遠隔手話サービス実施システムの整備 聴覚障害者の意思疎通支援体制強化のため、遠隔手話サービス実施システムを整備 ④県立学校の ICT 環境の早期整備 ICT 技術者等を GIGA スクールサポーターとして配置。障害児童生徒用に、点字ディスプレイ、視線入力装置等を整備 ④県立学校・大学での遠隔授業環境整備 ④県立芸術・文化施設等の無料講座配信</p>	<p>37 事業 11,152,998 千円</p> <p>1 利用状況の変化に対応した構造・設備を有する住宅の整備促進 ○県営住宅のバリアフリー化の推進 全ての人が利用しやすい住まいづくりを進めるため、建替・改修事業により、ユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化を実施 ※R1：65% R2(予定):67% ④オールドニュータウン再生モデル事業 明舞団地をモデルとして、地域住民組織による自主的運営の実現に向け、世代間交流・地域の魅力創出等を支援</p> <p>2 公共の施設・交通機関におけるスロープ等の設備設置や施設の整備促進 ○ユニバーサルツーリズムの推進 ユニバーサルツーリズムマップ (丹波地域) の作成、観光施設のバリアフリー情報を掲載した特設サイトの運営 ④インバウンド向けユニバーサル情報の提供 世界パラ陸上開催等を踏まえ、外国人向けに、試合会場や主要観光地のバリアフリー情報を WEB で発信 ○公共交通バリアフリー化の促進 ①鉄道駅エレベーター設置 ～R1:132 駅 R2(予定)9 駅 ②鉄道駅舎ホームドア設置 ～R1: 5 駅 R2(予定)6 駅 ③ノンステップバス ～R1:542 台 R2(予定)33 台 ○公共施設のバリアフリー化の推進 新設や再整備を行う道路・公園のバリアフリー化を推進 ※R2(予定):約 6.4km(歩道整備等) ○兵庫ゆずりあい駐車場制度の普及促進 ※駐車場登録 1,852 施設 4,730 区画 利用交付数 34,552 件</p> <p>3 利用者等の意見を尊重した公共施設等の整備や運営体制の整備 ④ユニバーサル社会づくり推進地区の整備 アドバイザー派遣等、推進地区でのきめ細やかな補助メニューにより、ハード・ソフト両面から福祉のまちづくりを支援 ※[推進地区]～R1：34 地区</p>	<p>8 事業 229,300 千円</p> <p>1 全ての人のにとって利用しやすいよう設計された日用品等の研究開発の促進 ④ロボットや最先端の福祉機器の展示 県内福祉機器展示 3 施設 (福祉のまちづくり研究所、但馬長寿の郷、西播磨総合リハビリテーションセンター) での、ロボット展示の充実強化、最先端機器開発企業と連携した特別展示セミナーの開催</p> <p>2 先端的な技術を活用した医療又は介護の提供のための研究開発の促進 ④ロボットリハビリテーションの拠点化推進 現場ニーズに即した研究開発・商品化、介護リハビリロボットの普及強化を実施 ○小児筋電義手バンクの運営支援 筋電義手(★)の訓練が必要な子供へ無償貸与 (★筋肉が収縮する時に生じる微量の筋電位を利用して本人の意思で指を動かせる電動の義手)</p> <p>3 全ての人のにとって利用しやすいよう配慮したサービス提供の促進 ○ユニバーサル推進貸付による支援 中小企業が取り組む障害者・高齢者等を雇用するための施設・設備改善及び旅館・ホテル等が取り組むバリアフリー化を支援 ○県民の参画と協働による施設整備・管理運営 福祉のまちづくりアドバイザーによる施設整備・管理運営の点検・助言、多くの利用がある施設のバリアフリー情報の公表を実施 ※[チェック&アドバイス]～R1：121 件 R2(予定):20 件</p> <p>4 住み慣れた地域で安心して暮らすためのサービス提供の促進 ○まちの保健室による健康づくりの推進 身近な場所で気軽に健康や子育てについて相談できる「まちの保健室」の運営支援 ○高齢者・障害者の情報リテラシー強化 消費者被害防止のため、市町や警察、福祉関係者等と連携し、地域の見守り支援やリーフレット作成・配布による啓発を実施 ○重症心身障害児者に対する生活支援の充実 24 時間常時看護師を配置して医療ケアが提供される医療支援型グループホームの整備を促進 ④地域活動支援センター等の受入体制強化</p>

- 1 目的** ・多様なニーズに応え、質の高い県民サービスを行うユニバーサル県庁の確立
 ・県の率先プロジェクトを市町、企業、団体、NPOなどの多様な主体に普及
- 2 対象** 知事部局、議会事務局、各種行政委員会事務局、警察、企業庁、病院局
- 3 期間** 令和元年～3年度（3年間）
- 4 特徴**


- (1) 職員一人ひとりが取り組む県民サービスの向上に向け、実施項目の目標を設定
- ・全所属が実践し100%達成すべき項目として、「**必須項目（10項目）**」を設定
 - ・職場の状況等を踏まえ、個々の職場で実践する「**独自項目（3～4項目）**」を設定
 - ・項目の達成に向けて、事務局において、研修、マニュアル作成、情報提供などを実施
 - ・各部局総務課副課長、県民局総務担当室長補佐等をチーフリーダーとし、進行管理を実施

- (2) 県庁から多様な主体へユニバーサル視点からの取組を広げる行動項目を設定
- ・具体的、実践的なモデル事業（10事業）を「**率先プロジェクト**」と設定し実施

5 令和元年度の実施状況

- (1) **必須10項目**は、「②職場内や来庁者に対する気持ちのよい対応」「⑦視聴覚障害者が参加するイベント等での情報配慮の実施」をはじめ10項目全て100%を達成した。
- (2) **独自項目**は、各所属で意欲的に取り組み、13項目中6項目で100%を達成した。「①手話研修」「②障害者・高齢者疑似体験研修」「③外国語で簡単な案内ができるための研修」等未達成の項目については、より実施を促し、職員の意識向上につなげる。
- (3) **率先プロジェクト**は、「⑧障害者スポーツ推進拠点の増加」、「⑨女性職員の採用・登用」をはじめ、取組が着実に進んでいる。

(第5次計画最終年度)

必須10項目	H30年度(N=514)		R元年度(N=509)		事務局の取組	
	実施所属	実施率	実施所属	実施率		
全所属が実践し、100%達成すべき項目						
意識	①だれにもやさしい県庁づくりのための研修を実施	514	100%	509	100%	○US推進リーダー研修を5会場(神戸・加古川・姫路・但馬・洲本)で実施 ○毎月3日にメールマガジン「ユニバーサル通信」発行 ○毎月の庁内放送によるユニバーサル施策発信と意識醸成 ○ヘルプマークのポスター掲示 
	②職場内や来庁者に対する気持ちのよい対応 ・積極的な挨拶、丁寧な電話対応 ・事務室入口等での来庁者への声かけ ・ヘルプマークを身につけた方への思いやりのある行動	514	100%	509	100%	
表示	③事務室入口のマーク等の掲示 ・補助犬マーク・耳マーク、手話マーク(県庁) ・B4・A3版カラー表示の配席表・業務説明 ・課室名の表示板に点字ラベルを貼付	514	100%	509	100%	○ユニバーサル社会推進掲示板に掲示し、各部局推進委員長及び地域推進本部長を通じ周知 ①配席表のサンプル ②補助犬の受入マニュアル ③耳マーク、手話マーク等の掲示
	④管理・監督職は点字名刺を常備	514	100%	509	100%	
環境	⑤障害者等とのコミュニケーションを円滑にするコミュニケーションボード、タブレット端末や筆談用具を配置	514	100%	509	100%	○ユニバーサル社会推進掲示板に掲示し、各部局推進委員長及び地域推進本部長を通じ周知 ①点字ラベラーの設置窓口リスト及び使用マニュアル ②コミュニケーションボードのサンプル ③障害者等向けコミュニケーション支援アプリ搭載タブレット及びマニュアル
	⑥物品・役務等の優先調達の実施	—	—	491/491	100%	
情報配慮	⑦視聴覚障害者が参加するイベント等での情報配慮の実施(手話通訳・要約筆記・ヒアリンググループ、点字・拡大資料等を準備) ※イベント実施所属のみ	63/63	100%	60/60	100%	○県公館大会議室にFM方式の集団補聴システムを設置 ○ユニバーサル社会推進掲示板に掲示し、各部局推進委員長及び地域推進本部長を通じ周知 ①ヒアリンググループの設置窓口リスト及び使用マニュアル ②ワード・エクセルの初期設定(12ポイント)の具体的な変更方法 ③カラーユニバーサルデザインに配慮した印刷物の作り方
	⑧12ポイント以上で文書・メール等を作成	514	100%	509	100%	
	⑨ユニバーサルデザインに配慮した印刷物・ホームページ等を作成 ※広報刊行物がある所属のみ	440/440	100%	432/432	100%	
	⑩通知文書や印刷物等にFAX番号、メールアドレスを記載	514	100%	509	100%	

(第5次計画最終年度)

独自項目	H30年度(N=514)		R元年度(N=509)				
	実施所属(a)/設定所属(b)	設定率 b/N	実施率 a/b	実施所属(a)/設定所属(b)	設定率 b/N	実施率 a/b	
職場の状況を踏まえ、個々の所属で実践する項目							
意識	①手話研修の実施	28/35	5%	80%	31/34	7%	91%
	②障害者・高齢者疑似体験研修の実施	14/14	3%	100%	16/23	5%	70%
	③外国語で簡単な案内ができるための研修を実施	—	—	—	32/40	8%	80%
表示	④施設にバリアフリー情報等を記した案内表示を掲示	141/141	27%	100%	144/145	28%	99%
	⑤イベント等ではわかりやすい案内表示を掲示	240/240	47%	100%	236/236	46%	100%
	⑥受付等に見やすい施設案内図・パンフレットを配置	328/328	64%	100%	311/311	61%	100%
環境	⑦大きさや形を工夫した吊り下げ名札の併用	201/201	39%	100%	259/259	51%	100%
	⑧職員全員が点字名刺を1枚以上所持	80/80	15%	100%	121/121	24%	100%
	⑨歩行が困難な方にやさしい通路を確保	407/407	79%	100%	437/437	86%	100%
情報配慮	⑩物品・役務等の優先調達の増加(件数・金額を前年比で増)	—	—	—	102/116	23%	88%
	⑪外国語による各種資料を作成	75/75	15%	100%	45/47	9%	96%
	⑫案内パンフレットやホームページにバリアフリー情報等を掲載	439/439	85%	100%	103/103	20%	100%
⑬映像DVD等を作成する場合、字幕や副音声を挿入	—	—	—	19/22	4%	86%	

率先プロジェクト	県庁から取り組みを広げる項目	R元年度 目標	R元年度 実績
①兵庫県率先行動計画の実施		必須10項目100%実施	必須10項目100%実施
②手話通訳者・要約筆記者の配置等の情報配慮の徹底		県主催の必要なフォーラム等で100%実施	100%
③外国人県民への多言語による生活相談・情報提供の実施		2,800件	2,868件
④兵庫ゆずりあい駐車場(パーキングパーミット制度)の実施		累計5,000区画	累計4,730区画
⑤認知症サポーターの養成数		累計460,000人	累計499,223人
⑥(ア)県有施設における障害者・専門家等による点検・助言制度「チェック&アドバイス」の実施		累計50件	累計52件
⑥(イ)県営住宅等を活用したグループホームの整備		累計235人分	累計245人分
⑦障害者就労支援事業所等からの優先調達		79,000千円	58,023千円
⑧障害者スポーツ推進拠点の増加		累計79箇所	累計82箇所
⑨(ア)知事部局等の採用者、(イ)本庁課長相当職以上の職(ウ)本庁副課長、班長・主幹相当職に占める女性割合の向上		【R2年度目標】 (ア)40%(イ)15%(ウ)20%	【R2年度実績】 (ア)44.7%(イ)15.0%(ウ)20.1%
⑩(ア)配偶者の出産補助休暇(イ)男性の育児休業(ウ)男性の育児参加休暇	取得率の向上	【R2年度目標】100% 但し(イ)は希望者の100% (対象者全体の5%程度)	【R2年度実績】 (ア)100%(イ)88.7% (イ)希望者の100%(対象者全体の12.1%)